

安全工学シンポジウム2022

気候変動を見据えた安全・安心・安定

「安全工学シンポジウム2022」は、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等の開催が予定されております。

[日 時] 2022年6月29日(水)～7月1日(金)

[会 場] オンライン開催



特別講演 6月30日(木) 12:30～13:30(予定)

気候変動への適応策・緩和策と安全工学

講演者：沖 大幹 氏(東京大学)

パネルディスカッション

連携PD 気候変動への適応に向けたこれからの地域社会の構築

PD-1 リスク学の歴史・展開・社会実装

PD-2 新しいモビリティと気候変動・安全・社会デザイン

オーガナイズドセッション

OS-1 化学物質を取り扱う研究現場におけるリスク

OS-2 環境配慮型木造建築の普及に向けた国内外の
火災安全研究の動向

OS-3 プロセス安全の推進

OS-4 災害と防災に関する心理学

OS-5 分野を横断する安全技術

OS-6 新たな社会状況下における社会安全に関する
リスクマネジメントの課題

OS-7 安全マネジメントの在り方の再考

OS-8 社会安全とAI

OS-9 デジタル社会における電力需要設備のスマート
メンテナンスへの健全移行

OS-10 ウイズコロナ禍での安全体験研修の在り方

OS-11 気候変動と安心感

OS-12 環境に配慮した宇宙推進システムの展望

OS-13 ものづくり・ひとづくり・ことづくりにおける安全
教育の実践例

OS-14 信頼性と危機管理における想定外の事象への
取組み

OS-15 機械安全・労働安全・国際標準化・規格化に
おける世界の潮流

OS-16 カーボンニュートラル施策のリスク検討フレーム

OS-17 高齢エアバッグの安全性と課題について

OS-18 老朽・遺棄化学兵器廃棄リスク評価・管理の
現況と展望

OS-19 安全文化

OS-20 土木工学における安全問題

OS-21 建設業における労働災害防止の新しい視点

主催：日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会

共催：土木学会、他32学協会

参加方法

事前web申し込み(参加は無料ですが、ホームページから参加申し込みが必要です。)
<https://www.anzen.org/index.html>

予稿集販売

webにて事前申し込み(一般5,000円、学生2,000円)(PDFダウンロード版となります)

問合先事務局

公益社団法人 土木学会

[E-mail] anzen@gakkai-web.net
<https://www.anzen.org/index.html>